長岡京市まちなかミュージアム
れきしる長岡京

仏、籠(こ)める。

像内納入文書の世界

開館記念特別展

二〇二〇年、新発見が導いた重要文化財
全貌初公開



入場無料

前期 2026 12/19(土) ― 2027 1/17(日)
後期 2027 1/23(土) ― 2027 3/22(月・祝)

会場 長岡京市まちなかミュージアム
れきしる長岡京
[市役所2階]

開館時間 9時00分―17時00分
【休館日】年末年始 12月29日(火)-1月3日(日)
展示替えのため 1月18日(月)-1月22日(金)
2月22日(月)-2月26日(金)

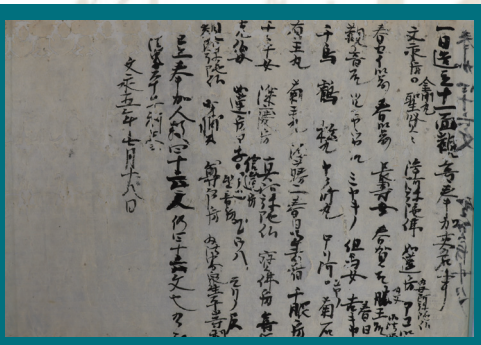
・左上：寂照院金剛力士立像造立結縁交名[京都府指定文化財]長岡京市蔵　＊後期展示
・右　：十一面観音立像結縁交名[重要文化財]乙訓寺蔵　＊前期展示
・左下：千手観音立像像内納入品のうち承元四年修造勧進結縁願文[京都府指定文化財]楊谷寺蔵　＊後期展示

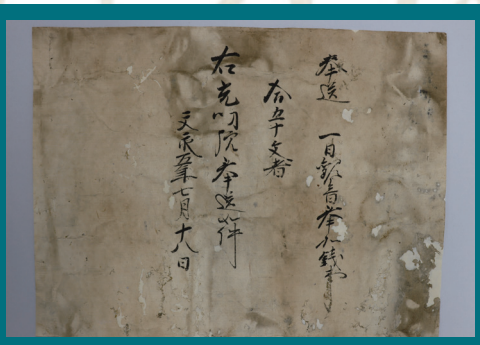
目には見えない像内に、人は何を籠めたのか。

本展では、長岡京市内に伝わる三件の仏像から発見された鎌倉～南北朝時代の納入文書が一挙登場。なかでも乙訓寺十一面観音立像（重要文化財）から近年に発見され、今回が初の全面公開となる結縁交名は必見です。ふだんは見ることのできない、〝仏に籠めた〟祈りの数々。その実像を、新拠点「れきしる長岡京」で間近に目撃してください。

仏像の内側には、時に驚くべき歴史の記録が封印されています。造像や修理にあたって願いを託した「願文」、仏と縁を結ぶことを願う人々の名を書き連ねた「結縁交名」――これら「像内納入文書」は仏像をつくり、受け継いだ人々の祈り、その時代を生きた人々の声を今に伝える貴重な記録です。







重要文化財 十一面観音立像結縁交名 鎌倉時代・文永5年（1268） 乙訓寺蔵

新発見！全面初公開！

現存最古の「一日造立仏」を証明した。

展示期間：前期12/19～1/17

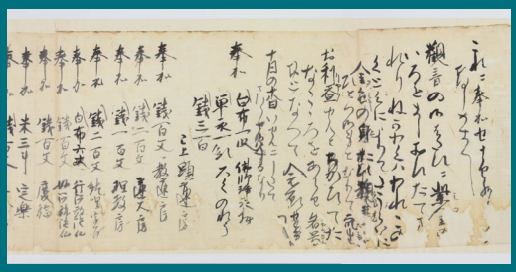


寺外初公開！

「事績未詳の仏師 ―その名を伝える、はらのうち。」

展示期間：後期1/23～2/21

京都府指定文化財 増長天立像（四天王のうち）院能作 鎌倉時代・建保5年（1217） 寂照院蔵



寺外初公開！

京都府指定文化財 修造勧進結縁願文 鎌倉時代・承元4年（1210） 楊谷寺蔵

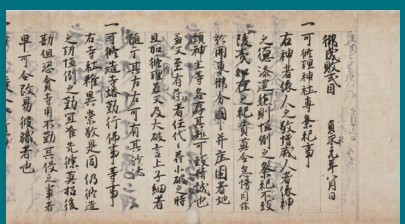
霊場の「秘仏本尊」――800年間、柳谷にあり。

展示期間：後期1/23～3/22 巻き替えあり
※2/22～26 展示替えのため休館

初公開！

結縁交名（紙背御成敗式目）の内容を補い、金剛力士像造立の経緯を記す。

長岡京市指定文化財 金剛力士立像像内納入文書 南北朝時代・康永3年（1344） 寂照院蔵
展示期間：後期1/23～3/22 ※2/22～26 展示替えのため休館



京都府指定文化財 寂照院金剛力士像造立結縁交名（紙背御成敗式目） 南北朝時代・康永3年（1344） 長岡京市蔵

修理後初公開！

「二王さま」 ― 祈りの言葉は、法典の裏に記された。

展示期間：後期1/23～3/22 巻き替えあり
※2/22～26 展示替えのため休館



十一面観音立像

乙訓寺にて特別公開
2026年12月19日～2027年1月17日



千手観音立像

楊谷寺にて開帳
2027年2月17・18日 3月17・18日

（公開期間内の土日祝のみ公開※1月1日（金・祝）～3日（日）は除く）

INFORMATION

【開館記念講演会】

井上大樹氏（文化庁美術学芸課文化財調査官）
「乙訓寺十一面観音像と像内納入品～修理の成果をふまえて～」

日時 2026年12月19日（土）13:00-14:30（12:30開場）
場所 長岡京市役所1階 産業文化センターメインホール
無料 事前申込み制　定員150人

【ギャラリートーク】

日時 2027年1月9日、1月24日、3月7日 各回13:30-13:50
場所 れきしる長岡京内
事前予約無し
担当学芸員が展示のポイントを案内します。



住所 京都府長岡京市開田1-1-1 長岡京市役所2階
阪急・長岡天神駅から徒歩5分、JR長岡京駅から徒歩10分

長岡京市まちなかミュージアム れきしる長岡京

お問い合わせ
文化財保存活用課 bunkazai@city.nagaokakyo.lg.jp